中学校部活動の地域展開における取組状況について

保健厚生課・学びの改革支援課

１　多様なスポーツ・文化芸術機会の創出
～９月 23 日（祝）　まつチャレフェスタ！を開催～

部活動の地域展開を推進するに当たり、生徒のニーズに応じた多種多様な体験機会の提供や地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等が必要とされているなか、松本市、松本市教育委員会と共催し、「まつチャレフェスタ！2025」を開催。

小学校高学年や中学生等を対象に、市内の地域クラブ活動「まつチャレ（まつもと子どもチャレンジクラブ）」の体験会をはじめ、ウェイトリフティング、太鼓、e-Sports 等、これまで学校部活動では経験できなかったスポーツ・文化芸術活動を体験する機会を創出。

２　信州地域クラブ活動オンラインクラブ活動
～10 月 28 日（火）より　ＩＣＴを活用した遠隔指導実証事業を開始～

中山間地における指導者の人材不足や広域連携による交通手段の確保が困難といった課題の解消を図るため、令和７年 10 月よりＩＣＴを活用したオンラインクラブ活動を５自治体、４競技で実証事業を開始。地域の事情に寄らず、全ての子どもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に参加できる事例創出等を検証。

【令和７年度オンラインクラブ活動トライアル事業実施市町村等】

実施市町村	実施競技	実施主体
御代田町	バスケットボール	信州ブレイブウォーリアーズ
長 野 市	バドミントン	（株）アーシャルデザイン
飯 綱 町	バドミントン	ＮＴＴ東日本バドミントン部
小布施町	陸上競技	東京学芸大学陸上部
松 本 市	ダンス	ＭＨＳヒップホップダンススクール

３　中学校部活動の地域展開フォーラム（令和７年度スポーツ庁委託事業）

～12 月 20 日（土）　県内外の有識者を交えて中学校部活動の地域展開フォーラムを開催～

県内外の部活動の地域展開に係る有識者との意見交換をとおして、地域において持続可能な子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の環境の構築を考えるとともに、地域クラブ活動への理解を深める機会として、中学校部活動の地域展開フォーラム（スポーツ庁委託事業（令和７年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業））を開催。県内外の関係者 120 名が参加。

１　日時及び会場

■令和７年 12 月 20 日（土）　13 時 00 分～16 時 00 分（受付 12 時 30 分～）

■ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）小ホール

２　内　容

■本県の情報提供「本県の施策と進捗状況」

長野県教育委員会事務局保健厚生課学校体育係長　出口　哲朗

■企業からの情報提供

近畿日本ツーリスト（株）

（株）アスフィール

■パネルディスカッション

・テーマ「子どもをトコトン真ん中においた部活動の地域展開」

・パネラー　　金沢星稜大学人間科学部　教授　西村 貴之 氏

一般社団法人スポーツリンク白川 クラブマネージャー 渡辺 靖代 氏

千曲市教育委員会 教育総務課 指導主事　山根 義夫 氏

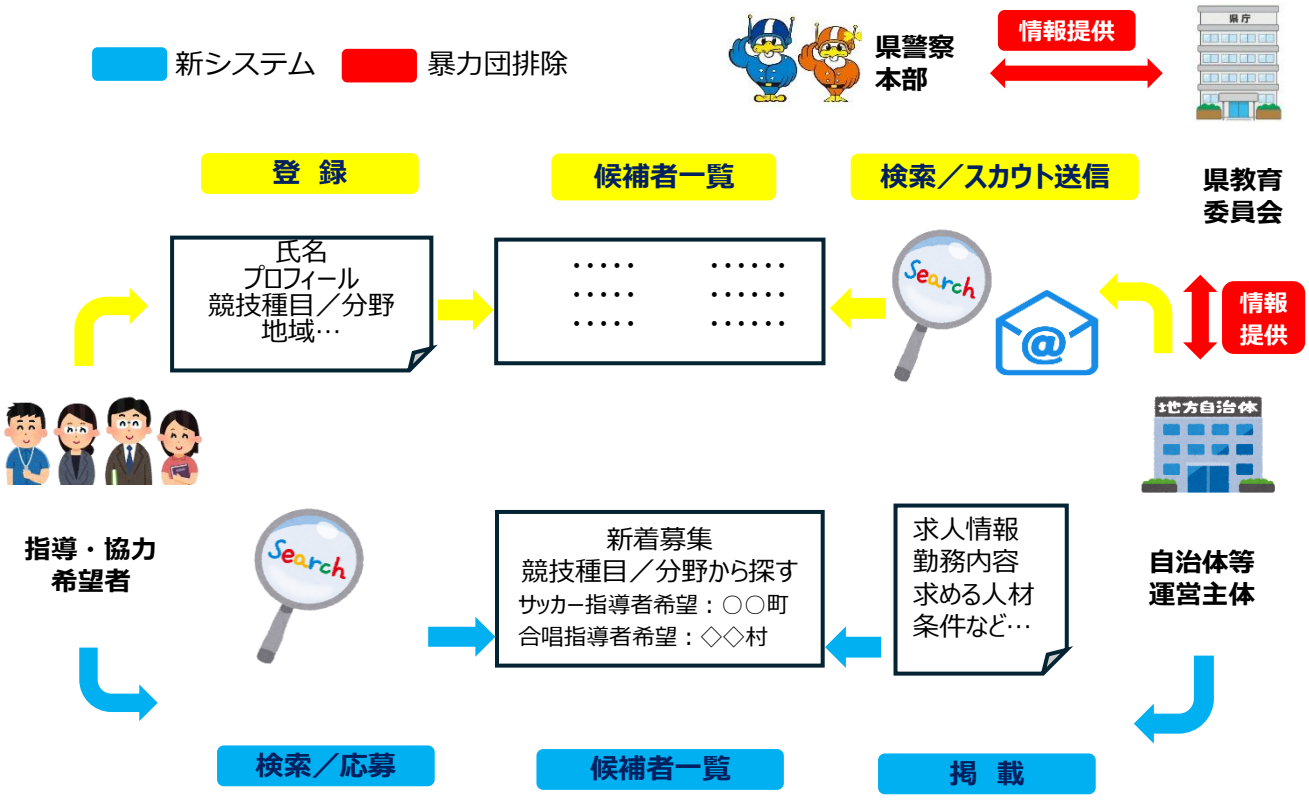
・モデレーター　長野県教育委員会　教育次長　松本 順子

４　信州地域クラブ活動指導者人材バンクの構築・県警本部と暴力団排除連携協定の締結
～12 月 24 日（水）　長野県教育委員会と長野県警察本部による協定締結式～

地域クラブ活動と指導者のマッチング強化を図るため、令和６年 11 月に開設した信州地域クラブ活動指導者人材リストを民間企業に業務委託し、登録者と地域クラブ活動の運営主体が直接交渉可能な信州地域クラブ活動指導者人材バンクを新たに構築。

あわせて、人材バンクの登録者から暴力団関係者を排除するため、県警本部と連携協定を締結。

【信州地域クラブ活動人材バンクと暴力団排除のスキーム】



５　信州地域クラブ活動応援サイトの構築

～12 月 24 日（水）本県の地域展開における情報を一元化したポータルサイトを開設～

本県の部活動の地域展開を推進するにあたり、運営主体となる市町村やコーディネーター、実施主体の地域クラブや指導者に対し、国や県の動向、県中体連や県吹奏楽連盟等との最新情報をはじめ、クラブ運営に係るマネージメント、指導者の資質向上に関する有益な情報等を一元化したポータルサイトを新たに構築。

今後は、県内市町村における地域展開担当部局とＷｅｂページをリンクすることで、各地域における地域クラブ活動の状況等について、生徒・保護者への周知に活用。

【信州地域クラブ活動応援サイトのメニューと情報等一覧】

◆　基本情報	スポーツ庁の情報、県の方針（ガイドライン）
◆　信州地クラブ活動指導者人材バンク	利用規約、プライバシーセキュリティー等
◆　信州地域クラブ活動応援サポーター認証制度	実施要綱、申請書等様式
◆　指導者向け	アスレティックトレーナー等派遣事業 指導者養成リーダー出前講座事業
◆　協議会資料一覧	協議会資料、実証事業成果報告概要
◆　事例紹介	実践研究（モデル地区）事例、県外先進事例
◆　関連情報	県内市町村地域展開担当部署 Web ページ
◆　バナー	県中体連、県吹奏楽連盟、県合唱連盟 JATAC NAGANO、（公財）県柔道整復師会

※ 今後、利用者の声をお聞きし、より充実したポータルサイトに随時更新予定

６　指導者の資質向上に関する取組

（１）地域クラブ指導者養成リーダー出前講座事業

地域振興局単位（10 圏域）に県教委が行う指導者養成リーダー研修を受講した指導者養成リーダーを地域クラブ活動に研修講師として派遣し、中学生期のスポーツ・文化芸術活動における充実・生徒の健全な成長を支援する指導者を育成。（令和７年 12 月 31 日現在　８回実施）

（２）アスレティックトレーナー等巡回事業

地域クラブ活動にアスレティックトレーナーを派遣し、スポーツ傷害等を防止するための柔軟、体幹トレーニングの指導、実際にけがをした際の応急処置、けがから復帰する際のリハビリ等について医科学的視点に立った指導を生徒、指導者に対して実施。

また、希望する地域クラブ活動を対象に、県内トップアスリートやプロスポーツチーム所属選手等を派遣し、専門的な技術指導をとおして、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ意欲を喚起するとともに、指導者の資質向上を図る。

（令和７年１２月３１日現在　７回実施）

（３）競技種目別指導力向上研修

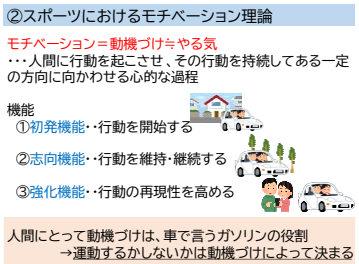
地域クラブ活動指導者を対象に、競技の特性に応じた専門的な知識や技術指導を地域クラブ指導者が学ぶ研修会を県内プロスポーツチームや競技団体等の協力を得て実施。

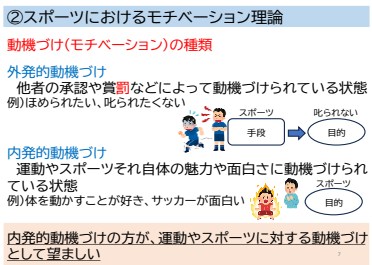
（令和７年１２月３１日現在　サッカー競技２回実施）

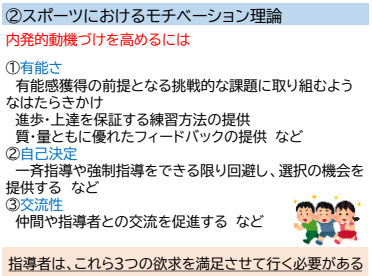
（４）信州地域クラブ指導者用コンテンツ制作事業

地域クラブ活動の指導者の質の向上を図るため、県内プロスポーツチームや競技団体、スポーツを専門とする大学教授等が構成する長野体育学会に協力を依頼し、地域クラブ活動の運営団体や実施主体のニーズに応じた研修用コンテンツを制作し、指導者養成リーダー出前講座で活用したり、信州地域クラブポータルサイトに掲載。（令和７年度中に 15 コンテンツを制作予定）

【地域クラブ活動指導者用研修コンテンツ「指導の基礎理論と倫理～発達段階と心理～」より】







７　本県における課題とその対応案

（１）指導者の確保と質の担保

① 人材の不足…特に専門的な指導ができる人材が中山間地や小規模町村では不足。

対 応　信州地域クラブ活動指導者バンクの充実、信州地域クラブ活動応援サポーター制度の強化、ＩＣＴを活用したオンラインクラブ活動事業の拡大

② 指導の質と安全管理…技術指導だけでなく、生徒の心身の成長やハラスメント防止、救急対応等、指導者の資質の向上への対応

対 応　国が創設する「認定地域クラブ活動指導者登録制度」に向けて、現在、県が実施している指導者の資質向上に関する諸事業の拡大

（２）実施主体・運営団体の確保と責任の所在

① 競技・分野による偏り…バスケットボール、サッカー等のメジャー競技は実施主体が見つかりやすい一方、競技人口の少ない競技、合唱や吹奏楽など文化部は、実施主体が不足。

対 応　総括コーディネーターの増員により市町村訪問支援を強化し、広域連携のさらなる推進と競技団体や文化芸術団体等との連携強化

② 運営団体の不在…地域クラブ活動を所管する運営団体が不足。現状、市町村教育委員会が運営団体の業務を兼ねているが、持続可能な体制とはなっていない。また、小規模町村においては、マンパワー不足のため、運営団体の業務を遂行できない。

対 応　総合型地域スポーツクラブや郡市スポーツ協会等が運営団体となっている事例の収集と事務局負担軽減を図るための地域クラブ運営アプリの活用の推進

③ 事故等の賠償責任への危惧…市町村が運営主体となる地域クラブ活動については、学校部活動と同じように事故等が発生時には国家賠償法が適用されるが、それ以外の地域クラブ活動は、民間保険の加入が必要であり、高額な損害賠償に対応できる保険は法人格が必要。

対 応　地域クラブ活動の法人化（ＮＰＯ法人、一般社団法人）に向けた支援研究により、法的責任（損害賠償）に備えた「スポーツ・文化法人責任保険」の加入推奨

（３）活動場所の確保と施設管理

① 活動場所の確保…指導者の勤務時間を考慮し、平日の地域クラブ活動が 19:00 開始となるケースが増加し、これまで実施されていた社会体育活動と活動時間が重なることで、活動場所の確保が困難。

対 応　市町村が認定する認定地域クラブ活動の学校施設の優先利用の推進

② 施設管理…学校施設を地域クラブに開放する際、鍵の開閉、緊急時対応等の管理上の課題があるほか、用器具庫の確保、備品破損時の責任分担、清掃等、細かなルール作りが必要。

対 応　県体制整備支援事業におけるキーボックス等設置補助、事故対応フローチャート作成例の提示、その他先行事例の紹介

（４）移動手段の確保と保護者負担の増加

① 保護者の負担が増加…広域による地域クラブ活動においては、移動手段の確保が困難。また、保護者による送迎や交通経費の負担増大が危惧。

対 応　信州地域クラブ活動ライドシャアモデル事業による効果検証並びにＩＣＴ活用オンラインクラブ活動の事業拡大

（５）経済的負担の増加

① 参加費の発生…令和８年度より補助金が導入されるが、地域クラブ活動の運営経費（指導者謝金、事務局人件費、備品・消耗品費）への受益者負担は一定額（1,000～3,000 円/月）が必要。

対 応　国補新規事業「部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業」の活用、及び信州地域クラブ活動応援サポーター制度の強化とガバメントクラウドファンディングの活用を検討

（６）生徒の「やりがい」と「多様性」のバランスの保障

① 勝利至上主義への懸念…地域クラブ化することで、より専門的・競技志向が強まり、「楽しく体を動かしたい」という生徒が居心地を悪くしてしまうことへの懸念。

対 応　市町村が認定する認定地域クラブ活動の趣旨の徹底

② 受け皿の多様性…競技力向上志向とレクリエーション志向等、多様な生徒のニーズを包含する体制の整備。

対 応　多様な活動多様なスポーツ・文化芸術推進事業の推進、県競技団体・文化芸術団体との連携強化

（７）地域格差の拡大

① 都市部と中山間地の…都市部と中山間地で地域展開の推進状況が異なり、教員の人事異動にも少なからず影響を及ぼす可能性がある。

対 応　中山間地における県総括コーディネーターによる訪問支援の強化